



# アングル



## 第57回全国学芸サイエンスコンクール 学芸ジャンル・環境分野・写真部門

中学生の部で銅賞 傳あかりさん(上ヶ田・15歳)  
小学生の部で入選 傳 晴人くん(上ヶ田・7歳)

全国学芸サイエンスコンクール(旺文社主催)は、幅広い分野に多くの部門を設け、全国の児童・生徒が得意分野で制作した作品を応募できる総合コンクールです。第57回のコンクールで、傳あかりさんが銅賞に、弟の晴人くんが入選に輝きました。小学生の部、中学生の部とも受賞したのは、金賞、銀賞、銅賞が各1人ずつ、入選が10人です。全国各地から、小学生の部には216人が、中学生の部には1,228人が応募しました。

あかりさんが写真を撮り始めたのは、小学4年生のときです。5年生のときに写真連盟裾野支部

の作品展を見に行き、本格的に写真を撮るようになりました。それ以降、様々な写真展などで賞を受賞しています。今回は、リサイクルセンターで山積みになっていたカラーテレビを撮影しました。

「山積みになっているカラーテレビが、何か訴えているような感じがしたので撮りました。それが、上手く表現できました」と話すあかりさん。風景を撮るときは1枚におさめようとせず、風景を切り取るイメージで撮影しているそうです。

「目標にしていたあこがれのコンクールで賞をとれ、うれしかったです。見た人の心を動かせるような写真を撮っていききたい。将来は写真関係の仕事をしたい」と今後の抱負を話してくれました。

弟の晴人くんは、あかりさんの賞状をみて、僕も負けられないと思い、写真を撮り始めたそうです。コンパクトカメラを片手に、時には地面に寝そべって撮ることもあるとか。今回入選した作品は、リサイクルセンターで積まれている家電製品を撮影したもので、『家電製品がかわいそうだなあ』と思って撮影したそうです。笑顔いっぱい個性豊かな構図の写真の撮っている晴人くん。小学1年生ですが、既に多くのコンクールで賞を受賞しています。「これからも、お姉ちゃんに負けまいようにたくさんいい写真を撮っていききたいです」と晴人くん。今後の活躍が楽しみな姉弟です。



## 文化センターナビ

2月の休館日/  
3日(月)・10日(月)・17日(月)・24日(月) ☎ 993-9300

### 三遊亭円楽 独演会

笑点でもおなじみ!三遊亭円楽の多彩な芸の力に触れ、落語の神髄を楽しんでいただける独演会です。

と き / 2月15日(土) 16時30分~  
(開場▶16時)

料 金 / 全席指定 2,800円(税込)

※未就学児入場不可

好評発売中!!



### ポピュラー音楽の祭典

と き / 3月22日(土) 17時~ (開場▶16時30分)

出 演 / 美川憲一、コロッケ、渡辺えり、加藤登紀子、高田利江

料 金 / 全席指定 6,000円(税込) 当日7,000円

※未就学児入場不可

好評発売中!!



## 富士の裾野を彩る

富士山資料館

### もとりのりなが 本居宣長書簡

江戸中期の国学者で、「古事記伝」・「玉くしげ」などの著者としても有名な本居宣長が、竹村平右衛門に宛てた書簡です。竹村平右衛門重雄は、現在の伊豆市熊坂の豪農で、宣長の門弟となっています。書簡の主な内容は、「お手紙をいただき、ご健勝とのことうれしく思います。私も元気に過ごしています。古事記題をいただきましたので、添削をしました。清書ができましたら送ってください。肴代として金百疋を贈っていただき、ありがたかったです。」です。

文化14年(1817)に、須山の御師渡邊五郎源真文と土屋平大夫藤原正澄が竹村の門に入門しており、そのつながりで渡邊家にこの書簡が伝わったと考えられます。



本居宣長書簡